

佐々木宏幹先生略歴および業績

《著書》

- 昭和五四年 『人間と宗教のあいだ——宗教人類学覚え書——』 耕土社
- 昭和五五年 『シャーマニズム——エクスタシーと憑霊の文化——』（中公新書）中央公論社
- 昭和五八年 『憑霊とシャーマン——宗教人類学ノート——』 東京大学出版会
- 昭和五九年 『シャーマニズムの人類学』 弘文堂（博士論文）
- 『改訂増補 人間と宗教のあいだ——宗教人類学覚え書——』 南斗書房
- 平成 元年 『聖と呪力——日本宗教の人類学序説——』 青弓社
- 平成 四年 『シャーマニズムの世界』（講談社学術文庫）講談社
- 平成 五年 『仏と霊の人類学——仏教文化の深層構造——』 春秋社
- 平成 七年 『宗教人類学』（講談社学術文庫）講談社
- 平成 八年 『神と仏と日本人——宗教人類学の構想——』 吉川弘文館
- 『聖と呪力の人類学』（講談社学術文庫）講談社
- 平成一三年 『新装改訂 仏と霊の人類学——仏教文化の深層構造——』 春秋社

平成一四年 『へほとけ』と力——日本仏教文化の実像——』吉川弘文館

《編著（共編著）》

昭和六一年 『文化人類学 三 特集 宗教的シンクレティズム』アカデミア出版会

昭和六二年 『本門仏立宗』旺文社

平成 元年 『文化人類学 六 特集 シャーマニズムの現在』アカデミア出版会

平成 三年 『文化人類学』有斐閣（村武精一との共編著）

『現代と仏教——現代日本人の精神構造と仏教——』（体系 仏教と日本人 一一）春秋社

平成 六年 『宗教人類学——宗教文化を解説する——』新曜社（村武精一との共編著）

平成一〇年 『社会と象徴——人類学的アプローチ』村武精一教授古稀記念論文集——』岩田書院（大胡欽

一・加治明・比嘉政夫・宮本勝との共編著）

平成一一年 『東アジアにおけるシャーマニズム文化の構造と変容に関する文化人類学的研究』科学研究費

補助金（国際学術研究）研究成果報告書

平成一三年 『アジア漢文化地域の民俗宗教に関する宗教人類学的研究』科学研究費補助金（基盤研究（A）

（2））研究成果報告書

《共 著》

昭和五〇年 『救い』（ふおるく叢書 七）弘文堂

『命と鎮魂』（朝日カルチャーセンター講座／現代人の宗教 六）河出書房新社（昭和六一年御茶の水書房より再版）

昭和六三年 『異界が覗く市街図』 青弓社

『こころを癒す——信仰と精神医学——』（医療と宗教を考える叢書）同朋舎

平成 三年 『憑霊の人間学——根源的な宗教体験としてのシャーマニズム——』 青弓社

平成 五年 『宗教時代への挑戦——仏教カトリシズムをめざして——』 春秋社

《訳書》

昭和四二年 E・E・エヴァンズリップリチャード著 『宗教人類学の基礎理論』 世界書院（大森元吉との共訳）

昭和五〇年 R・N・ペラー編著 『アジアの近代化と宗教』 金花舎

《訳書監修》

平成 七年 A・J・アラン・エリオット著（安田ひろみ・杉井純一訳）『シンガポールのシャーマニズム』

春秋社

《監修》

平成一〇年 『日本民俗宗教辞典』 東京堂出版（宮田登・山折哲雄との監修）

《論 文》

(多数の為、過去一〇年以内の主な論文に限定して掲載)

平成 四年 「自然とのコミュニケーション——彼我の直接交流の基本条件について——」(『メヂカルニュー

ース』三三二六号) 大日本製薬株式会社

「仏教とシャーマニズム——宗教人類学的視点から——」(『大法輪』第五九卷第三号) 大法輪閣

「マレーシアの憑霊現象について」(綾部恒雄・青柳まちこ編『民族学コラージュ——共同体論その他——』住谷一彦先生記念論集 Ⅱ) リブプロボート

「(ニライ・カナイ)論の周辺」(『歴史読本』第三七卷第一九号) 新人物往来社

「隠されたシャーマン(シャーマニズムへの旅 一 東南アジア華人社会と宗教)」(『月刊百科』第三五六号) 平凡社

「シンガポールのタンキー信仰(シャーマニズムへの旅 二 東南アジア華人社会と宗教)」(『月刊百科』第三五七号) 平凡社

「タンキー化の諸相(シャーマニズムへの旅 三 東南アジア華人社会と宗教)」(『月刊百科』第三五九号) 平凡社

「急激な近代化とタンキー信仰(シャーマニズムへの旅 四 東南アジア華人社会と宗教)」(『月刊百科』第三六〇号) 平凡社

「神と人のあいだ(シャーマニズムへの旅 五 東南アジア華人社会と宗教)」(『月刊百科』第三六

一〇号) 平凡社

平成 五年 「タンキーが創った新宗教(シャーマニズムへの旅 六 東南アジア華人社会と宗教)」「月刊百科」

(第三六三号) 平凡社

「加入儀礼とタブー(シャーマニズムへの旅 七 東南アジア華人社会と宗教)」「月刊百科」(第三六五号) 平凡社

「“慈字一家”の社会・政治的背景(シャーマニズムへの旅 八 東南アジア華人社会と宗教)」「月刊百科」(第三六六号) 平凡社

「仙医の実態(シャーマニズムへの旅 九 東南アジア華人社会と宗教)」「月刊百科」(第三六七号) 平凡社

「マレー人女性の憑霊(シャーマニズムへの旅 一〇 東南アジア華人社会と宗教)」「月刊百科」(第三六九号) 平凡社

「祭司の誕生——神道の成立をめぐって——」(「別冊歴史読本 特別臨時増刊」第一八卷第二六号) 新人物往来社

平成 六年 「宗旨と現実のあいだ」(「寺院を場とした安心確立のためのカリキュラム」) 曹洞宗教化研修所

「僧職者の条件」(「月刊住職」第二二卷第一号) 金花舎

「僧職者の条件 2 へ死者はなぜ成仏できるのか」(「月刊住職」第二二卷第二号) 金花舎

「僧職者の条件 3 へ仏壇信仰こそ寺檀関係の要」(「月刊住職」第二二卷第三号) 金花舎

「ホトケ信仰」の性格考——宗教学者の視点から——」(「駒澤大学文化」第一六号) 駒澤大学

文学部文化学教室

「チャネラー (Chaneler) 考——シャーマン (Shaman) との比較において——」(『櫻井徳太郎博士
頌詩記念論文集』) 駒沢宗教学研究会

「シャーマン化 (成巫) の諸相」(『季刊 A Z シャーマニズムの心理学』第三三号) 新人物往来社
「宗教と世界観」(綾部恒雄・石井米雄編『もっと知りたいシンガポール 第2版』) 弘文堂

「巫女の系統——卑弥呼と中国シャーマンとのつながり——」(『歴史探究講座 日本へのルーツを探
る』) 日本通信教育連盟生涯学習局

「エドワード・タイラー『原始文化』」(綾部恒雄編『文化人類学の名著五〇』) 平凡社

「ジエームズ・フレイザー『金枝篇』」(綾部恒雄編『文化人類学の名著五〇』) 平凡社

「エミール・デュルケーム『宗教生活の原初形態』」(綾部恒雄編『文化人類学の名著五〇』) 平凡
社

平成 七年 「神と力——童乩 (Eggs) 信仰の弾力性について——」(杉本良男編『宗教・民族・伝統——イデ

オロギー論的考察——』叢書 V) 南山大学人類学研究所

「東南アジア華人社会のシャーマニズム——「力」(Eggs) の観念を中心に——」(諏訪春雄・川村
湊編『アジアの霊魂観』) 雄山閣

「文化装置としてのヒーリング——東南アジア華人社会の事例から——」(『地域開発』第三七四
号) 財団法人日本地域センター

「シャーマニズム現象の分類について」(『生活文化研究所年報』第九輯) ノートルダム清心女子

大学生活文化研究所

「静のトランス」の再評価」〔春秋〕第三七五号）春秋社

「宗教進化論と宗教複合論」〔アジア文化研究プロジェクト〕第五号）学習院大学東洋文化研究所

「日本の宗教——一九八〇年以降の宗教研究——」〔ヨーゼフ・クライナー編〕日本民族学の現在——

一九八〇年代から九〇年代へ——）新曜社

平成 八年 「霊（アニマ）と力（マナ）のあいだ——宗教の原初諸形態について——」（井上俊・上野千鶴子・

大澤真幸・見田宗介・吉見俊哉編）『聖なるもの／呪われたもの』の社会学』岩波講座 現代社会学
第七卷）岩波書店

「習合宗教と力」〔本郷〕第七号）吉川弘文館

「黄老仙師慈教の明暗——シャーマニスティックな新宗教集団の特質について——」〔宗教学論
集〕第一九輯）駒沢宗教学研究会

「日本宗教に潜在するアニミズム」〔創文〕第三八二号）創文社

平成 九年 「黄老仙師慈教の明暗」〔宗教と社会〕別冊）「宗教と社会」学会

「あるカルトの興亡と政治——シンガポール華人社会の事例から——」〔宗教研究〕第三二一号）
日本宗教学会

「巫師的祭司について——フィリピン・マニラ華人社会の事例から——」（脇本平也・田丸徳善編

「アジアの宗教と精神文化」新曜社

「シャーマニズムと癒し——脱魂・憑霊論と関連づけて——」（『魂の源流と未来——第二回日本ト

ランスパーソナル学会会議）日本トランスパーソナル学会

「民間の宗教者——神に選ばれた者、童乩——」（笠原政治・植野弘子編『アジア読本 台湾』河出書房新社

「日本人の宗教とへ癒し」（『望星』第二八巻第六号）東海教育研究所

Three Aspects of Religious Education, *Echoes of Peace*, No.53, NIWANO PEACE FOUNDATION

「宗教経験の重層性」（『季刊仏教』四〇）法藏館

平成一〇年「正月」のルーツをアジアに探る——”切れ目”の混沌に秩序と安定を求めて——」（『望星』三

三〇号）東海教育研究所

「ネオ・シャーマニズムについて」（『宗教研究』第三二一五号）日本宗教学会

“Hotoke Belief” and the Anthropology of Religion（『國學院大學日本文化研究所紀要』第八一輯）

國學院大學日本文化研究所

「タイ国華人社会のコン・ソンについて——童乩との比較において——」（大胡欽一・加治明・

佐々木宏幹・比嘉政夫・宮本勝編『社会と象徴——人類学的アプローチ 村武精一教授古稀記念論文集——』岩田書院

集——）岩田書院

「共生への宗教人類哲学」（『ロゴスドン』通巻二七号）ヌース出版

「童乩」（『しにか』第九巻第八号）大修館書店

「土着思想と台湾仏教」（石田尚豊監修・NHK「ブッダ」プロジェクト編『ブッダ 3 救

いの思想 大乘仏教』日本放送出版協会

平成一二年 「シャーマニズム研究の現状と現代中国のシャーマニズム」(佐々木宏幹編『東アジアにおける

シャーマニズム文化の構造と変容に関する文化人類学的研究』科学研究費補助金(国際学術研究)研究成果報告書

「中国本土の童乩信仰——東南アジア各地の事例との比較において——」(『宗教研究』第三一九号) 日本宗教学会

「葬祭仏教の問題(一)」(『寺門興隆』第一卷第五号) 興山舎

「葬祭仏教の問題(二)」(『寺門興隆』第一卷第六号) 興山舎

「葬祭仏教の問題(三)」(『寺門興隆』第一卷第七号) 興山舎

平成一二年 「東南アジア華人社会の変化と民俗宗教——シンガポールのタンキー(Tankee)信仰について——

——」(『東アジア文化総合研究プロジェクト報告書』第一集 日本大学総合科学研究所

「僧と巫のあいだ——現代中国本土の事例から——」(『宗教研究』三三三号) 日本宗教学会

「生きがいと宗教」(宮田登・新谷尚紀編『往生考——日本人の生・老・死——』小学館

「ネオ・シャーマニズム論の問題点——M・ハーナーの所説をめぐって——」(櫻井徳太郎編『シヤーマニズムとその周辺』第一書房

平成一三年 「シャーマンと癒し」(宮田登編集協力『ものがたり 日本列島に生きた人たち 7 伝承と文学

下』岩波書店

「生活仏教の諸相——宗教学人類学的視点から——」(『宗教研究』第三二七号) 日本宗教学会

「仏教教団と葬祭儀礼——たてまえと現実のあいだ——」(『国際宗教研究所編』現代宗教二〇〇一)

東京堂出版

「厦門の童乩信仰——東南アジアの事例との比較において——」(佐々木宏幹編『アジア漢文化地域の民俗宗教に関する宗教人類学的研究』科学研究費補助金(基盤研究(A)(2))研究成果報告書

「現代中国の観音信仰——仏教と民俗宗教の媒体としての観音信仰——」(『成寿』第三三卷) 神奈川新聞社出版局

「ほとけ」と力(一) (『寺門興隆』第三卷第六号) 興山舎

「ほとけ」の力(二) (『寺門興隆』第三卷第七号) 興山舎

「僧」の力(三) (『寺門興隆』第三卷第八号) 興山舎

「寺」の力(四) (『寺門興隆』第三卷第九号) 興山舎

「異界と人界のあいだ」(『文学』一一・一二月号 第二卷第六号) 岩波書店

平成一四年 「ほとけ」考——日本人の死者観について—— (『成寿』第三三卷) 神奈川新聞社出版局

「中国の童乩信仰と類似信仰——東南アジアの事例との比較において」(『宗教学論集』第二一輯) 駒沢宗教学研究会

「超神仏習合寺院出現とその社会的背景——フィリピン・マニラ市の大千寺の場合——」(『成寿』第三四卷) 神奈川新聞社出版局